

令和6年度 第3回門川町子ども・子育て会議（書面会議） 報告

1 回答期限 令和7年3月31日（月）

2 回答者

委員 14名（うち意見なし9名）

3 議題

（1）令和7年度門川町特定教育・保育施設申込状況について

（2）門川町こども未来プラン（門川町こども計画）について

4 配布資料

☐ 門川町子ども・子育て会議条例

☐ 門川町子ども・子育て会議委員名簿

☐ 会次第

☐ 資料1 令和7年度門川町特定教育・保育施設申込状況について

☐ 資料2 門川町こども未来プラン

☐ 資料3 ご意見及びご質問票

5 会議内容

書面において会議を実施した。

委員14名中5名より意見をいただいた。

6 議題

【議題1】 令和7年度門川町特定教育・保育施設申込状況について

意見

○0、1、2歳児の入園定数の増を今後の課題としてほしい。

○ほとんどの施設が利用定員に達していないようだ。入所基準を満たしていないのか、申込数が少ないのか。

○申し込み状況が利用定員をほぼ下回るので良いと思う。0歳児については現場状況において余裕がないのかもしれない。

【議題2】門川町こども未来プラン（門川町こども計画）について

意見

○今回のプランはとてもよく考えられていると思われる。

基本目標1：休日保育・特別保育・放課後子ども総合プラン→充実

基本目標3：家庭教育学級の開催について再考の必要があるのでは。回数より内容、開催時間
少年の立ち直りサポート。スクールカウンセラー、教員だけでなく広い職種との連携が必要。

基本目標4：生徒指導の充実。学級だけの指導にとどまっていないか。ソーシャルワーク的な指導でこどもを大切に育てたい。アンケートの回収率からも分かるように中学になったから大丈夫という保護の認識の変革。発達障がいグレーゾーンのこどもや気になるこどもへの学校教育の支援。虐待だけでなく「ヤングケアラー」の学校・地域による支援。

様々な問題を家庭・学校・保育所だけで対応していないだろうか。ソーシャルワーク的な支援が必要な時代になっていると思われる。また、保育士へのソーシャルワーク研修会の実施を望む。宮崎県内には保育の充実が小中高の教育や生徒指導につながると考える。託児所感覚より「養護・教育」のバランスの取れた保育ソーシャルワーカーの育成を望む。

○ファミリーサポートセンターの利用料金一部補助を考えてほしい。

○こどもたちが門川町の未来を語る会が良かった。こども中心のイベントが増えるとよい。

○妊娠中からの支援について。以前あったプレパパママ教室、母乳育児の話など開催してほしい。

病院に行くには時間もお金もかかるし、小さなこどもがいたら行くのが大変。

気軽に話をしたり相談できる機会が多いとよい。初めての出産は不安。支援センターなど産後も切れ目なく育児の相談などできて他のママとの交流や先輩としての話も参考になると思う。

○ひとり親世帯の経済状況や子育ての悩み、発達障がい児を抱える親の不安や行き詰まりなどを聞いてもらえる場所の整備をもっと充実させてほしい。